

EDI-Master DEX for Mainframe  
Ver6.00-01  
リリースメモ

IBM, z/OS は、International Business Machines Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

## 目次

[Ver.6.00-01 での変更内容].....	1
---------------------------	---

本バージョンの変更内容はすべて、IBM 版が対象となります。

対象プロトコルは、全銀 TCP 手順、全銀-UST 手順、JCA-UST 手順、3270 手順です。

[Ver.6.00-01 での変更内容]

No	概要	VerUp 区分	変更区分
1	3270 手順を評価し、問題ないことを確認	機能強化	通信部
2	全銀 TCP 手順で伝送すると、メモリ使用量が増加する不具合を修正	修正	通信部
3	全銀 TCP 手順で DEX オンラインのサーバ動作ポートに対して Telnet から接続後、DEX オンラインが着信できなくなる不具合を修正	修正	通信部
4	D 形式の一括カタログ処理で、ヘッダーレコード指定のない入力ファイルを使用すると、先行処理でカタログしたデータファイルを削除する不具合を修正	修正	通信部以外
5	時間帯指定しているディスパッチ処理で、ディスパッチ時間範囲外にリトライ中止の応答を行うと、次のディスパッチ時間範囲内にリトライが継続される不具合を修正	修正	通信部以外
6	時間帯指定しているディスパッチ処理で、ディスパッチ時間範囲外にリトライ中止の応答を行うと、次のディスパッチ時間範囲内になって新たにディスパッチ条件が成立しても、伝送起動が行われない不具合を修正	修正	通信部以外
7	運用管理システムで、旧製品名が表示される不具合を修正	修正	通信部以外
8	運用管理システムのパラメータ初期設定パネルで制御マクロを設定すると、運用管理システムが異常終了する不具合を修正	修正	通信部以外
9	ディスパッチ高速化機能の利用時に、DEX オンラインを終了するとコントロールファイルがオフラインになる不具合を修正	修正	通信部以外

No	概要	VerUp 区分	変更区分
10	ディスプレイ起動されたにも関わらず、 DEXM205I メッセージが出力される不具合を修正	修正	通信部以外
11	掲載漏れのメッセージ番号の説明を追加 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ DEXM750A</li> <li>・ DEXM752A</li> <li>・ DEXM753A</li> <li>・ DEXM754A</li> <li>・ DEXM755A</li> <li>・ DEXM757A</li> <li>・ DEXM758A</li> <li>・ DEXM759A</li> </ul>	修正	ユーザーズ・ ガイド
12	XFILE マクロの MODE=パラメータの説明に記載 した通信手順名の間違いを修正	修正	ユーザーズ・ ガイド
13	掲載不要メッセージをマニュアルから削除 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ DEXM382I</li> <li>・ DEXM384A</li> </ul>	修正	ユーザーズ・ ガイド
14	XACTIV2 マクロの MSGLVL=第2パラメータに "NBUM"を指定した際の輝度変更メッセージを DEXM384A から DEXM388A に変更	修正	ユーザーズ・ ガイド
15	全銀 TCP 手順の XLINK マクロの STATION=パラ メータの「1 次局動作の説明」に記載した参照先 の間違いを修正	修正	ユーザーズ・ ガイド

<b>No.2</b>		<b>全銀 TCP 手順で伝送すると、メモリ使用量が増加する不具合を修正</b>
条件発生	全銀 TCP 手順で伝送を行った場合	
内容障害	伝送処理時のプログラム領域解放漏れにより、メモリ使用量が増加する。	
回避策 未実施時の アップデート	DEX オンラインの再起動を定期的に行う。	

<b>No.3</b>		<b>全銀 TCP 手順で DEX オンラインのサーバ動作用ポートに対して Telnet から接続後、DEX オンラインが着信できなくなる不具合を修正</b>
発生条件	以下の条件をすべて満たす場合： <ul style="list-style-type: none"> <li>・全銀 TCP 手順のサーバ動作用ポートに対して、Telnet から接続する。</li> <li>・Telnet 接続中に伝送処理を行う。</li> </ul>	
内容障害	サーバ動作用ポートがダウン（メッセージ「DEXM1453A」）し、着信ができなくなる。	
回避策 未実施時の アップデート	Telnet から DEX オンラインのサーバ動作用ポートへ接続しない。	

<b>No.4</b>		<b>D 形式の一括カタログ処理で、ヘッダーレコード指定のない入力ファイルを使用すると、先行処理でカタログしたデータファイルを削除する不具合を修正</b>
発生条件	以下の条件をすべて満たす場合： <ul style="list-style-type: none"> <li>・D 形式の一括カタログ処理で、ヘッダーレコード指定のない入力ファイルを使用する。</li> <li>・ユーティリティで複数の制御ステートメントを指定し、一括カタログ前にカタログしている。 もしくは同じ入力ファイルで、既にカタログしている。</li> </ul>	
障害内容	D 形式の一括カタログ処理で、ヘッダーレコード指定がない場合、先行処理でカタログしたデータファイルを削除する。 さらに、ヘッダーレコード指定がない場合が続くと、再度、先行処理でカタログしたデータファイルを削除しようとして、存在しない為に、異常終了が発生する。	
回避策 未実施時の アップデート	正しいレコードフォーマットのファイルで、一括カタログ（D 形式）を行う。	

<b>No.5</b>		<b>時間帯指定しているディスパッチ処理で、ディスパッチ時間範囲外にリトライ中止の応答を行うと、次のディスパッチ時間範囲内にリトライが継続される不具合を修正</b>
<b>発生条件</b>	以下の条件をすべて満たす場合： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ディスパッチの起動条件が「時間帯指定」で「ファイル生成もしくはファイル伝送完了」である。</li> <li>・ディスパッチの処理条件が「伝送起動」である。</li> <li>・ディスパッチの成立回数が「無制限」である。</li> <li>・ディスパッチ時間範囲外になってから、リトライ中止を応答する。</li> </ul>	
<b>内容 障害</b>	リトライ中止を応答しても、リトライが継続される。	
<b>回避策</b>	アップデート 未実施時の リプライ応答を要求された場合、ディスパッチ時間範囲内に応答する。	

<b>No.6</b>		<b>時間帯指定しているディスパッチ処理で、ディスパッチ時間範囲外にリトライ中止の応答を行うと、次のディスパッチ時間範囲内になって新たにディスパッチ条件が成立しても、伝送起動が行われない不具合を修正</b>
<b>発生条件</b>	以下の条件をすべて満たす場合： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ディスパッチの起動条件が「時間帯指定」で「ファイル生成」もしくは「ファイル伝送完了」である。</li> <li>・ディスパッチの処理条件が「伝送起動」である。</li> <li>・ディスパッチの成立回数が「無制限」である。</li> <li>・ディスパッチ時間範囲外になってから、リトライ中止を応答する。</li> <li>・リトライ中止の応答後、次のディスパッチ時間範囲内で、ディスパッチ条件が成立する。</li> </ul>	
<b>内容 障害</b>	新たにファイル生成もしくはファイル伝送完了によりディスパッチ起動条件が成立しても、伝送処理が起動されない。	
<b>回避策</b>	アップデート 未実施時の リプライ応答を要求された場合、ディスパッチ時間範囲内に応答する。	

No.7		運用管理システムで、旧製品名が表示される不具合を修正
条件発生		以下の条件を満たす場合： <ul style="list-style-type: none"> <li>・運用管理システムの画面を照会する</li> </ul>
内容障害		運用管理システムの画面で旧製品名「DEX-II」が表示される。
回避策 未実施時の アップデート		特になし。

No.8		運用管理システムのパラメータ初期設定パネルで制御マクロを設定すると、運用管理システムが異常終了する不具合を修正
条件発生		以下の条件を満たす場合： <ul style="list-style-type: none"> <li>・パラメータ初期設定パネルで制御マクロを設定後、実行キーを押下した場合</li> </ul>
内容障害		運用管理システムが異常終了することがある。
回避策 未実施時の アップデート		「DEXFILE 入力パネル」で制御マクロを設定後、運用管理システムを利用する。

No.9		ディスパッチ高速化機能の利用時に、DEX オンラインを終了するとコントロールファイルがオフラインになる不具合を修正
発生条件		以下の条件をすべて満たす場合： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ディスパッチ高速化機能を利用している</li> <li>・DEX オンライン終了処理とディスパッチ高速化機能のコントロールファイルアクセス処理が競合した場合</li> </ul>
内容障害		コントロールファイルがオフラインになる。
回避策 未実施時の アップデート		特になし。



<b>No.10 ディスパッチ起動されたにも関わらず、DEXM205I メッセージが出力される不具合を修正</b>	
発生条件	以下の条件を満たす場合： <ul style="list-style-type: none"> <li>・オンラインコマンド発行時エラーが発生した後に、ディスパッチ処理により伝送が起動された場合</li> </ul>
内容 障害	オンラインコマンド発行時に出力する DEXM205I メッセージが出力される。
回避策 未実施時の アップデート	特になし。

<b>No.11 掲載漏れのメッセージ番号の説明を追加</b>	
変更内容	ユーザーズ・ガイドに掲載漏れのメッセージを追加した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ DEXM750A</li> <li>・ DEXM752A</li> <li>・ DEXM753A</li> <li>・ DEXM754A</li> <li>・ DEXM755A</li> <li>・ DEXM757A</li> <li>・ DEXM758A</li> <li>・ DEXM759A</li> </ul>
参照先	ユーザーズ・ガイド 「V メッセージ編」 —「第7章 CBB(オンライン)」—「7 - 1 CBB メッセージ」

<b>No.12 XFILE マクロの MODE=パラメータの説明に記載した通信手順名の間違いを修正</b>	
内容 変更	説明から通信手順名を削除した。 説明 「全銀手順の場合は、」を削除
参照先	ユーザーズ・ガイド 「Ⅲ リファレンス編」 —「第2章 制御マクロ」—「2-6 XFILE」—「2-6-1 全銀-UST(CBB) 手順」 —「第2章 制御マクロ」—「2-6 XFILE」—「2-6-3 全銀 TCP(CTB) 手順」

No.13 掲載不要メッセージをマニュアルから削除	
変更内容	V4.40-01 改修時のメッセージ番号変更に伴い、出力されなくなったメッセージをマニュアルから削除 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ DEXM382I</li> <li>・ DEXM384A</li> </ul>
参照先	ユーザーズ・ガイド 「Ⅶ メッセージ編」 <ul style="list-style-type: none"> <li>－「第4章 FCP/MCFC/UCFC( オンライン)」</li> <li>－「4 - 1 FCP/MCFC/UCFC メッセージ」</li> </ul>
No.14 XACTIV2 マクロの MSGLVL=第2パラメータに"NBUM"を指定した際の輝度変更メッセージの間違いを修正	
内容 変更	メッセージを「DEXM384A」から「DEXM388A」に変更した。
参照先	ユーザーズ・ガイド 「Ⅲ リファレンス編」 <ul style="list-style-type: none"> <li>－「第2章 制御マクロ」－「2 - 2 XACTIV2」</li> </ul>
No.15 全銀 TCP 手順の XLINK マクロの STATION=パラメータの「1次局動作の説明」に記載した参照先の間違いを修正	
変更内容	参照先の説明を変更した。 誤：その場合1次局動作は保証できません(2-5-6 全銀-UST(CBB)手順 参照)。 正：その場合、全銀-UST(CBB)手順と同様の理由により1次局動作は保証できません。
参照先	ユーザーズ・ガイド 「Ⅲ リファレンス編」 <ul style="list-style-type: none"> <li>－「第2章 制御マクロ」－「2 - 5 XLINK」</li> <li>－「2-5-1 全銀 TCP(CTB)手順」</li> </ul>